

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【公開番号】特開2000-233059(P2000-233059A)

【公開日】平成12年8月29日(2000.8.29)

【出願番号】特願平11-36558

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月29日(2007.8.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】遊技者の操作にもとづいて遊技を行うとともに遊技者に有利となる特定遊技状態に移行可能な遊技機であって、

通常状態よりも前記特定遊技状態となり易い特別遊技状態に制御させる特別遊技状態制御手段と、

所定の数値範囲内で特定遊技判定用カウンタの値を更新する特定遊技判定用カウンタ更新手段と、

所定の条件が成立すると前記特定遊技判定用カウンタの値を抽出し、抽出値と判定値とを比較して、それらが一致すると前記特定遊技状態に移行させる特定遊技状態制御手段と、

前記特定遊技判定用カウンタの更新初期値を決定するための初期値決定用カウンタの値を更新する初期値決定用カウンタ更新手段と、を備え、

前記特別遊技状態制御手段は、前記所定の数値範囲を変更することなく、前記通常状態における前記判定値の数よりも前記特別遊技状態における前記判定値の数を増加させることにより前記特別遊技状態に制御し、

前記特定遊技判定用カウンタの所定周回毎に、抽出した前記初期値決定用カウンタの値を前記特定遊技判定用カウンタに初期値として設定する初期値更新手段を更に備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】定期的な信号にもとづいて定期処理を行うとともに、当該定期処理の終了後、次の定期処理が行われるまでの期間に繰り返し所定の処理を行うものであり、

初期値決定用カウンタ更新手段は、初期値決定用カウンタの値を前記所定の処理で更新する

請求項1記載の遊技機。

【請求項3】初期値決定用カウンタの値が抽出される条件となる特定遊技判定用カウンタの所定値を決定するための数値決定手段を備えた

請求項1または請求項2記載の遊技機。

【請求項4】定期的な信号にもとづいて定期処理を行うとともに、当該定期処理の終了後、次の定期処理が行われるまでの期間に繰り返し所定の処理を行うものであり、

数値決定手段は、所定値を決定するための数値を前記所定の処理で更新する

請求項3記載の遊技機。

【請求項 5】 特定遊技判定用カウンタに初期値が設定される条件となる所定周回を決定するための初期設定タイミング決定手段を備えた

請求項 1 ないし請求項 4 記載の遊技機。

【請求項 6】 定期的な信号にもとづいて定期処理を行うとともに、当該定期処理の終了後、次の定期処理が行われるまでの期間に繰り返し所定の処理を行うものであり、

初期設定タイミング決定手段は、所定周回を決定するための数値を前記所定の処理で更新する

請求項 5 記載の遊技機。

【請求項 7】 初期値決定用カウンタの値が抽出される条件となる特定遊技判定用カウンタの所定値は、電源投入時に、特定遊技判定用カウンタのカウント範囲内の値に設定される

請求項 1 ないし請求項 6 記載の遊技機。

【請求項 8】 特定遊技判定用カウンタがとりうる数値範囲と初期値決定用カウンタがとりうる数値範囲とは同じである

請求項 1 ないし請求項 7 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】

本発明による遊技機は、遊技者の操作にもとづいて遊技を行うとともに遊技者に有利となる特定遊技状態に移行可能な遊技機であって、通常状態よりも特定遊技状態となり易い特別遊技状態に制御させる特別遊技状態制御手段と、所定の数値範囲内で特定遊技判定用カウンタの値を更新する特定遊技判定用カウンタ更新手段と、所定の条件が成立すると特定遊技判定用カウンタの値を抽出し、抽出値と判定値とを比較して、それらが一致すると特定遊技状態に移行させる特定遊技状態制御手段と、特定遊技判定用カウンタの更新初期値を決定するための初期値決定用カウンタの値を更新する初期値決定用カウンタ更新手段と、を備え、特別遊技状態制御手段は、所定の数値範囲を変更することなく、通常状態における判定値の数よりも特別遊技状態における判定値の数を増加させることにより特別遊技状態に制御し、特定遊技判定用カウンタの所定周回毎に、抽出した初期値決定用カウンタの値を特定遊技判定用カウンタに初期値として設定する初期値更新手段を更に備えたものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

定期的な信号にもとづいて定期処理を行うとともに、当該定期処理の終了後、次の定期処理が行われるまでの期間に繰り返し所定の処理を行うものであり、初期値決定用カウンタ更新手段は、初期値決定用カウンタの値を所定の処理で更新するように構成されていてもよい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

定期的な信号にもとづいて定期処理を行うとともに、当該定期処理の終了後、次の定期処理が行われるまでの期間に繰り返し所定の処理を行うものであり、数値決定手段は、所定値を決定するための数値を所定の処理で更新するように構成されていてもよい。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

定期的な信号にもとづいて定期処理を行うとともに、当該定期処理の終了後、次の定期処理が行われるまでの期間に繰り返し所定の処理を行うものであり、初期設定タイミング決定手段は、所定周回を決定するための数値を所定の処理で更新するように構成されていてもよい。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0131

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0131】

【発明の効果】

以上のように、本発明によれば、遊技機を、特定遊技判定用カウンタの所定周回毎に、抽出した初期値決定用カウンタの値を特定遊技判定用カウンタに初期値として設定するように構成したので、所定の起動タイミングに同期して遊技制御手段から出力される各種信号を観測しても、特定遊技判定用の数値が判定値と一致するタイミングを推測することはできなくなり、その結果、外部から大当たりを不正に発生させるための信号を与えることができなくなって、不正遊技行為を効果的に防止できる効果がある。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0132

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0132】

定期処理の終了後から次の定期処理が行われるまでの期間に繰り返し実行される所定の処理で初期値決定用カウンタの値が更新されるように構成されている場合には、初期値決定用カウンタの値のランダム性が増すので、特定遊技判定用の数値が判定値と一致するタイミングを外部で推測することがより困難になる効果がある。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0134

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0134】

定期処理の終了後から次の定期処理が行われるまでの期間に繰り返し実行される所定の処理で、初期値決定用カウンタの値が抽出される条件となる特定遊技判定用カウンタの所定値を決定するための数値が更新されるように構成されている場合には、更新用初期値の抽出タイミングのランダム性が増すことによって、特定遊技判定用の数値が判定値と一致するタイミングを外部で推測することがより困難になる効果がある。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0136

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0136】

定期処理の終了後から次の定期処理が行われるまでの期間に繰り返し実行される所定の処理で所定周回を決定するための数値が更新されるように構成されている場合には、初期値設定タイミングのばらつきがより大きくなつて、特定遊技判定用の数値が判定値と一致するタイミングを外部で推測することが一層困難になる効果がある。